



自立し、互いに関わり合いながら、よりよい社会づくりに参画し行動する「有徳の人」の育成を目指して

Eジャーナルしずおか



令和4年(2022年)
12月5日
月曜日
第254号

発行・編集 教育政策課 〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号 TEL 054-221-3674 FAX 054-221-3561 E-mail kyoui_seisaku@pref.shizuoka.lg.jp

学校広報プロジェクト第3弾

教育委員会事務局の広報プロジェクトチーム「広報 PT」が、10月22日に開催された実学チャレンジフェスタ取材しました。ブースに参加していた生徒に3つの質問をしました。

- ① どんな魅力のある学校か
- ② 今どんなことに取り組んでいるか
- ③ 入学を考えている中学生に向けて一言



磐田農業高校

- ① 磐田農業高校では農業に関する色々な体験ができ、様々な知識と技術を学ぶことができるところが魅力。
- ② 生産科学科ではパンジー等の草花の苗を育て販売したり、フラワーアレンジメントの授業を行ったりしている。フラワーアレンジメントを制作から片付けまで60分のできるように練習している。今回は20ある型のうちそれぞれ1つずつ披露した。
- ③ 学校生活がとても楽しいので是非磐田農業高校に来てください！



浜松城北工業高校

- ① ロボットに関連した科目を新設し、協力企業と連携して授業を行えることが魅力の学校です。
- ② マイスターハイスクールの指定校となっており、企業のエンジニアから常に先端の技術を学ぶことができます！また、技能検定などの資格も取れます！
- ③ 部活動でエコラン（消費燃料の少なさを競うレース）を行うなど、普通科高校にない部活動もあります！興味のある方は是非浜松城北工業高校に！



島田商業高校

- ① 島田市の商店街や地元企業と連携し、商品開発や販売、イベントの企画など色々なことを行えるのが魅力です。
- ② 地元企業の人と会って話しながら、新しい商品を開発する授業を行っています。自分のアイデアが形になっていくことが楽しいです。
- ③ 卒業後に生かせるスキルを学ぶことができ、商業系の役立つ資格が取れます。就職希望の人はおすすめです！



小笠高校(総合学科)

- ① 一番の魅力は総合学科であること。入学後、すべての系列の授業を体験し、自分の好きな道を選ぶことができ、やりたいこともきっと見つかる。
- ② 「課題研究」で芽キャベツの探究を進めている。苦手な人でも食べられるように加熱時間など試行錯誤を繰り返してレシピを作成している(実は静岡県の芽キャベツ生産量は日本一)。
- ③ たくさんの系列があるので、自分の興味のあるものが必ず見つかるはず。また将来の夢が決まっていない人ほど、安心して小笠高校に来てほしい。



浜松江之島高校(芸術科)

- ① 県内でも数少ない、芸術科がある学校。音楽や美術に関連したコースの中から好きなコースを選んで専門的に学ぶことができる。
- ② 2年生は浴衣の制作、3年生は修了制作に取り組んでいる。難しい作業が多いが、その中で新たな発見があり、他の作品に取り入れるためのアイデアを得ることもある。
- ③ 江之島高校は芸術を専門的に学べる学校。芸術に興味がある中学生、芸術を深く学びたい中学生は、ぜひ浜松江之島高校に入学してください。



磐田北高校(福祉科)

- ① 福祉科併置校として、福祉に関して専門的に深く学ぶことができるのが魅力。個人的に「生活支援技術」の授業が面白いと感じている。
- ② 福祉施設で、週1回の実習を行っている(2年生)。学校での学習が、実際の場面で確認できる。
- ③ 「介護福祉士国家試験」合格に向け、必要な勉強ができ、自分が関心のあることに取り組めるので、毎日の学校生活が楽しい。ぜひ、磐田北高校への入学をお待ちしています。

広報 PT は取材して
欲しい学校を募集中!

▼ 広報PTへの連絡はこちらまで

電話 054-221-3674・3134

メール kyoui_seisaku@pref.shizuoka.lg.jp

【教育政策課】

実践NOTE505 特別支援学級でおこなう「生・性の学び」

御殿場市立富士岡中学校 養護教諭 平野 祥子

特別支援学級でおこなう性に関する指導の計画

本校は、通常級 16 クラス、特別支援学級が4クラスの全 20 クラスの中学校です。特別支援学級における性に関する指導を検討した際に、①正しい人との距離感を学ぶ、②どんな人も被害者にも加害者にもなりうることを知った上で行動する、③相手の気持ちを考えて行動をするという3点を中学校卒業までに身につけたい力として設定しました。



目指す生徒の姿

- ① 正しい人との距離感がとれる
- ② 被害者にも加害者にもなりうることを知った上で行動する
- ③ 相手の気持ちを考えて行動をする

今年度の取り組み

- 第二次性徴におけるからだの変化
- 妊娠・出産(いのちの歩み)
- 性被害から自分を守る自己防衛力
- 多様性について知る

想像を超えた生徒の反応

一回目の授業として、第二次性徴に伴う男女の身体のちがいを、命のもとになる精子と卵子にポイントを絞って授業を行いました。はじめに、目に見える体の部位と見えない部位のそれぞれの働きを確認し、次に、男性器と女性器の違いについて学ぶ予定でした。人のイラストは柔らかなものを用意しましたが、プリントを配るや否や、顔を伏せて大泣きしている生徒がいました。その生徒ばかりか、机間巡視をしていると、イラストのプライベートゾーンを塗りつぶしたり、付箋をはりつけて隠したりする生徒の姿がありました。視覚刺激に対する生徒の反応について、授業者として十分に想像しきれませんでした。その日の生徒たちの感想には、「きもちわるかった」「小学



付箋で隠されたプライベートゾーン

校の頃にも同じような勉強をしたけど、骨格がしっかりするようになるのは知らなかった」「大事なところだけど、みせたくないところもある」とありました。小学生の時にも見ているから大丈夫だろうし、中学生として、性についてきちんと教えたいという独りよがりな気持ちが招いた失敗でした。

失敗からの学びを活かす

二回目の授業では、受精直後の受精卵から胎児になるまでのいのちの歩みについて学習しました。前回の授業で大泣きした生徒には、事前に授業内容を伝え、その上で授業に参加する意思を確認しました。受精卵が胎児になり、そして出産する過程を学びながら、「精子が卵子の近くにいけないのはなんで?」「お父さんとお母さんって、からだは別なのにどうやってくっつくの?」「私知ってるよー」など、生徒は思ったことを口々にしていました。振り返りプリントでは「出産まで色々な成長があったんだと思った」「赤ちゃんが好きだから色々なことを知れて楽しかった」「赤ちゃんかわいいね!私は〇〇くんと結婚したいです!」と、書かれていました。



今後の生活につなげる

私の願いは、生徒が身体のしくみを学習した上で、自分と相手を思いやった行動の選択ができるようになることです。特別支援学級の生徒たちは、捉え方、感じ方が一人ひとり違うので、集団指導としての難しさがあります。取り組みについては始まったばかりですが、社会の動きによっても変化している「生・性の学び」について、養護教諭という専門性を活かして正しい情報を伝え続けたいと思っています。

実践NOTE506 つながる 広がる 続ける まとめる 伝える 「交流籍」を活用した交流及び共同学習

静岡県立藤枝特別支援学校 教諭 神原秀晃

本校は、昭和 61 年の開校で、学区は県中部の藤枝市、焼津市、島田市、川根本町です。今年度小学部 136 名、中学部 74 名、高等部 132 名が在籍(9月現在)し、教職員約 200 名の体制で教育活動を行っています。

つながる

今年度の「交流籍」を活用した交流及び共同学習(以下、「交流籍」交流)の参加率は、小学部 68%、中学部 53%です。個人記録表を用い、交流内容や日程、目標、役割分担等を決めるところから、つながりが始まります。中学部では、保護者からの一言を添えた『交流たより』を作成し、交流に役立てました。



英語の授業で自己紹介(著者右端)

※「交流籍」とは、「県立特別支援学校の小学部及び中学部に在籍する児童生徒が、居住する地域の小学校又は中学校に置副次的な籍」のことで、これを活用して、居住する地域の小・中学校で交流及び共同学習を行います。

広がる 続ける

「理科の実験をやったことがとても達成感があったようで、帰宅後も実験のことを何度も話していました。」との感想を保護者からいただくなど、児童生徒の興味関心が広がる機会になります。



一緒に袋詰め作業

「交流を続けることは、相手を考え、一人一人の思考を深め、分かり

やすい授業の展開は、互いの児童生徒の学力の向上にもつながる」と考えています。限られた時間の中で、目標を押さえた内容が求められますが、創意が生かせる面白いところです。

まとめる 伝える

事後の評価は、担当同士でまとめ、個別の指導計画へ反映します。中学部では、学部P C掲示版や、交流日記で内容を伝えます。



オンラインで近況報告

終わりに

保護者からは、「交流を続けたおかげで、登校時に挨拶してくれるようになった」、「出会ったとき、言葉を掛けてくれるようになった」との意見をいただいています。交流校の生徒からは、「いろいろなことが分かりました。家族に伝えたいと思います。」などの感想が寄せられました。交流校の担当からは、「普段からの活動が、地域で生きるという願いにつながる。」「授業数確保と学習内容の難しさがある。」との意見をいただきました。こまめに、情報発信することも課題です。地道に、つながる 広がる 続ける まとめる 伝える「交流籍」交流を実践していきたいと思っています。



音楽、トーンチャイムの演奏

「新・放課後子ども総合プラン」を知っていますか？

～国全体で放課後児童対策を進めています～

共働き家庭等の「小1の壁」を打破するとともに、次代を担う全ての児童が放課後等を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができるよう、放課後児童クラブ^{*1}及び放課後子供教室^{*2}の計画的な整備が進められています。

～放課後児童対策に御協力をお願いします～

児童と家庭を取り巻く環境の変化により、放課後児童対策に対するニーズが高まっています。市町では、年々増加する放課後児童クラブ^{*1}利用希望者に対応するため、受け皿整備に取り組んでいます。国の総合的な放課後児童対策である「新・放課後子ども総合プラン」では、余裕教室など学校施設の利活用が求められています。

～学校施設を活用した放課後児童クラブ^{*1}及び放課後子供教室^{*2}の連携事例～

島田市の放課後子供教室(フレンズクラブ)では、年に数回、放課後児童クラブ^{*1}との交流イベントを体育館など学校施設で実施しています。この日は、白熱したドッジボール大会が繰り広げられました。



▲交流イベント



放課後子供教室における多様な体験活動

^{*1} 放課後児童クラブ(学童) …保護者が労働等により昼間家庭にいない児童を対象に放課後に適切な遊びや生活の場を与え、健全な育成を図る事業
^{*2} 放課後子供教室 …全ての児童を対象に地域住民の協力を得て、放課後等に多様な体験・学習活動を実施する事業

【社会教育課】

授業前に心を落ち着かせる時間を

授業前に黙想を取り入れている学校があるという話を聞き、浜松市立三方原中学校を訪問しました。

三方原中学校では、「3・2・1運動」に取り組んでいます。「3・2・1運動」とは、「授業開始の3分前に教室へ入室、2分前に着席、1分前に目を閉じ黙って心を落ち着かせ、授業に臨む」取組のことです。浜松市内では、少なくとも40年程度前から行われている学校があり、現在では文化として根付いているとのことでした。

私も実際の様子を目の当たりにしましたが、生徒たちは、時間になると自主的に入室し、目を閉じ黙想を始めます。この取組は、近隣の小学校でも始められているようです。

生徒たちは、休み時間と授業のけじめをつけ、気持ちを整えた状態で授業に臨みます。黙想のおかげか、落ち着いて授業に臨んでいるようです。

こうした取組は、ビジネスや様々な分野で取り入れられているマインドフルネスに通じるものがあります。「今」という瞬間に意識を向けるマインドフルネス。不安やストレスの多い時代に心を落ち着かせ、自分の心や体と向き合うことも大切ですね。



▲生徒たちの黙想の様子

マインドフルネスとは？

今、この瞬間の体験に意図的に意識を向け、評価をせずに、とらわれのない状態で、ただ観ること。なお、「観る」は、見る、聞く、嗅ぐ、味わう、触れる、さらにそれらによって生じる心の働きをも観る、という意味である。

出典 日本マインドフルネス学会 <https://mindfulness.jp.net/concept/>

【教育政策課】

外国につながりがある児童生徒への教育支援

「日本語による日本語指導」の普及

県教育委員会では、「日本語による日本語指導」の普及のため、日本語指導コーディネーター派遣事業を行っています。外国につながりがある児童生徒の日本語指導に対して、お悩みをお持ちの学校や市町教育委員会の方は、ぜひ各教育事務所配置の日本語指導コーディネーターを積極的に御活用ください。



外国につながる子どもが編入してきたけど、日本語が不得意 これからどんどんケースが増えそうだけど、市町としてどうしたらいいの？

クラスにいる外国につながる子どものために、どんな授業をしたら、理解しやすいだろう？

校内の他の先生方にも外国につながる子どもたちについて知ってほしい

指導計画はどうやって作るの？

特別の教育課程を編成したい

子どもの日本語レベルを知りたい

小学校・中学校の先生方

いっしょに考えましょう！派遣要請してください！

外国につながりがある児童生徒お役立ち資料紹介

義務教育課では、外国につながりがある児童生徒の支援に活用できる資料を、ウェブページにより紹介しております。ぜひ、学校の実態に合わせて御活用ください。



学校からのお便りや連絡などがうまく伝わらず困っている先生方へ

学校における「やさしい日本語」活用促進事業実施報告書

おたより等に生かせる「やさしい日本語」についての作成例などが載っています。



児童生徒や保護者に日本の学校について、どのように伝えたらよいか困っている先生方へ

ようこそ！日本の学校へ(フィリピン語版)

日本の学校制度について、わかりやすく説明している多言語リーフレットです。



詳しくは、静岡県教育委員会義務教育課ウェブページを御覧ください。

【義務教育課学校地域連携班】

総合教育センター **芸術教育に** ふすま Angle **アートマネジメントの視点を!**

産業教育専門研修Ⅱ期(芸術)が8月24日に開催されました。講師にアーツカウンシルしずおかプログラム・ディレクター鈴木一郎太氏を迎え、講義や演習を通して静岡県の文化政策で重要視されているアートマネジメントについて学びました。「文化」を「ささえる」ばかりでなく「文化」が(社会を)「ささえる」ために、社会の中で他分野との接点が増えている芸術文化の在り方を考えるアートマネジメントの視点が、今、芸術教育に求められていることを再確認しました。



▼演習の風景

アートマネジメントとは

- 文化の作り手と受けてをつなぐ役割を担うもの
(文化庁 第5期文化制作部会第4回資料・平成19年11月)
- アートと社会*の間に立って事業を推進し、双方にとっての良い結果を導くこと

* 観客、関係者、その他、さまざまなステークホルダー。偶然そこに立ち会うことになった人。のちのち、プロジェクトのことを知る人。

誰も思い描いていなかった思わぬ成果が生まれやすい状況をつくることも期待されることがある

(アーツカウンシルしずおかプログラム・ディレクター 鈴木一郎太氏)

【総合教育センター高等学校支援課】

注目施設 静岡県と山梨県の魅力を発信 **ふじのくに空のしおり-3776-**

令和3年4月、静岡県と山梨県の協働施設「ふじのくに 空のしおり-3776-」が富士山静岡空港旅客ターミナルビル3階にオープンしました。「本のページをめくる」ように静岡と山梨の逸品を御覧頂けるほか、静岡県産の日本酒(大吟醸)や1本5,000円以上的高级ボトリングティー、山梨県産のワインやフルーツジュースが、500円で試飲できるコーナーもあります。空港見学や利用の際に、是非お立ち寄りください。

▼試飲コーナー



▼展示の様子



お問合せ先 ▶ 空港管理課

TEL 054-221-3228

【空港管理課地域連携班】

県議会だより 題字・写真コンクールのお知らせ



静岡県議会では、年4回開催される定例会後に、本会議の概要や論戦の焦点などを掲載した県議会だよりを、高校への配布や、新聞折り込みによる各戸配布で県民の皆さんにお届けしています。

注目 高校生の生き生きとした題字を募集します!

昨年度、初開催した題字コンクールは、読者から「題字がとても素敵」「高校生が書いたとは驚き」とたいへん好評でした。今年度も高校生を対象とした県議会だより題字コンクールを実施します。課題は、「しずおか県議会だより」または「静岡県議会だより」で、基本的に特選作品は県議会だよりの題字(タイトル)に採用されます。書道部や書道の腕に自信のある生徒に、ぜひ、応募するようお声掛けください。



入賞者には副賞が授与されます

詳しくは、こちらのQRコードをチェック!

毎年恒例 映える写真も募集します!

続いては、静岡県議会だよりの恒例企画である、県議会だより写真コンクールのご紹介です。写真コンクールでは、老若男女皆さんから「静岡県の四季」をテーマに写真を募集します。皆さんが撮影した四季折々の写真が県議会だよりの表紙として掲載されます。誰でも応募できますので、生徒はもちろん先生方もぜひご参加ください!



入賞者には副賞が授与されます

詳しくは、こちらのQRコードをチェック!

お問い合わせ ▶ 054-221-2388 【議会事務局政策調査課】

静岡県委託 令和4年度 介護サポーター育成事業「介護に関する入門的研修」のご案内

介護の入門研修を受け介護事業所で働きたい方募集!!

介護の周辺業務が学べる3日間の研修です。希望者には、介護の周辺業務のお仕事をご紹介します!

まずは説明会にご参加ください(要予約)

1/6(金)・10(火) 14:30~
浜北文化センター 第4・第5会議室
浜松市浜北区豊布291-1
※都合のつかない方も、個別に対応させていただきます。

2/1(水)・6(月) 10:30~
シグマカレッジ静岡校
静岡市葵区御幸町8-1 JADEビル6F

■カリキュラム(3日間)
・介護に関する基礎知識
・介護の基本
・認知症の理解
・基本的な介護の方法
・障害の理解
・介護における安全確保

参加無料

東海道シグマ

運営: 株式会社東海道シグマ 地域福祉支援事業部
〒420-0857 静岡市葵区御幸町8-1 JADEビル6F

お申込みはお電話・Webサイトにて受付中
TEL 054-255-4259 受付: 平日9:30~17:30